

操明安全・安心ネットワーク

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

中区	小学校区・地区名	操明学区	世帯数	4,006 世帯	人口	9,113 人
----	----------	------	-----	----------	----	---------

■はじめに

操明学区安全・安心ネットワークでは、「安全で安心して住める地域づくり・学区コミュニティ活動の向上」を2本柱として活動に取り組んでいる。

■操明学区6大ふれあい行事の実施

操明学区ではこの2本柱を実現・推進するため、「6大ふれあい行事」を毎年開催している。この6大行事は、学区の見守りや交流も兼ねており、各団体が協力し合いながら実施されている。

- ・桜まつり (4月)
- ・精霊おくり (8月)
- ・体育祭 (9月)
- ・敬老会 (10月)
- ・防災訓練 (11月)
- ・クリーン作戦 (12月)



【協働する団体等】

操明学区連合町内会・コミュニティ協議会・環境衛生協議会・連合自主防災会・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・愛育委員会・電子町内会・体育協会・交通安全対策協議会・防犯協議会・交通安全母の会・栄養改善協議会・かがやきクラブ(老人クラブ)連合会・操南中学校PTA・操明小学校PTA・操明幼稚園PTA・親子クラブ・操南中学校・操明小学校・操明幼稚園

■操明学区 独自の取り組み

6大行事以外にも、「防災減災・地域福祉活動・交通防犯事故の防止・学区の情報共有」などの活動にも日頃から取り組んでいる。

【防災・減災】

令和3年に操明学区の2大災害(水害・地震)に対する各地域団体や個人が取るべき行動を視える化(タイムライン)し、学区内で共有した。今後はこのタイムラインも活用しながら、防災役員研修や防災訓練を行っていく。

【地域福祉活動】

操明福祉活動推進委員会が作成を進めていた「操明おたすけ福祉マップ」が令和2年に完成。災害時要支援者や避難場所・避難経路についてなど日ごろの見守り活動に役立つ様々な情報がこの地図には記されている。地図内に記載されている情報は、主に民生委員から寄せられており、常に更新されている。

★コロナ禍の活動と成果

コロナ禍の影響で多くの行事やイベントが中止され、人との接し方にも制限や慎重さが求められるようになった。そんな中、福祉活動推進委員会では「操明おたすけ福祉マップ」を利用し、見守りの必要な方の情報共有を行った。対象となる人を自分たちの日常生活の中でちょっとだけ意識し、気に掛ける。その中で気づいたことや変化などを個人情報に留意しながら会員同士が報告し合った。その結果、今までよりも早く情報が集まるようになり、助けが必要な方へのサポートがスムーズに行えた。

操明福祉活動推進委員会とは、主に社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・連合自主防災会が連携し活動している会である。

【交通防犯事故の防止】

犯罪抑制効果を狙い、学区独自で「のぼり旗」を作成し各所に立てている。

【情報の共有】

- ・学区広報紙を作成・全戸に配布(年4回)
 - ・電子町内会の緊急連絡網により、不審者情報や災害時の緊急連絡などをメールで一斉配信ができるしくみを構築している。
 - ・電子町内会を中心に、情報を充実させるため学区ホームページの作成・更新は可能な限り各団体や町内会も行っている。
- 作業方法の講習会を電子町内会が実施している。

■その他

操明学区連合町内会(電子町内会)ホームページ
<http://townweb.e-okayamacity.jp/c-soumei-rengou/>